



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 西 美紀

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1322 回	56 名	56 名	41 名	——	73.21%
前々回 1320 回	56 名	56 名	44 名	1 名	80.36%

- 点鐘 会長 中田 学
- ロータリーソング 我らの生業
- 四つのテスト
- ビジターゲストの紹介 飛騨こども相談センター

所長 谷倉 祐二 様  
会長 中田 学

### ●会長挨拶

こんにちは！ 会長の時間です。

3週間空きまして、大変お久しぶりとなりました。この間、今日からはクールビズ、そして、ゴールデンウィークがありましたし、明けには、コロナへの対応の大幅緩和などがあって、止まっていた時間がどっと一気に動き始めた感じがしています。年度当初から思い返してみると、ようやくホッとして、良かったなあと思うとともに、今度は、逆に、この一気に来た時間の流れに、置いていかれないようにしなければならないなあと思っています。

さて、今月は、「青少年奉仕月間」ということになっています。国際ロータリーは、この問題へ6つの取り組みをおこなっています。

#### ①世界各地の様々な「青少年プログラム」への支援

ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じていて、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援しています。

#### ②「インターアクトクラブ」の運営への支援

12～18歳の青少年が、会員となって、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っているイ

ンターアクトクラブを支援しています。

#### ③「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)」の用意

若い人たちが楽しみながら、新しいスキルと自信を身につけることを目指し、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われるリーダーシップ養成プログラムを用意しています。

#### ④「ロータリー青少年交換」への支援

青少年交換は、ロータリークラブの支援のもと、世界100カ国以上で実施されており、15～19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムで、平和の実現を目指して国際理解を促し、若者の成長を支援しています。

#### ⑤「新世代交換」への支援

新世代交換は、30歳までの大学生と社会人を対象とした短期の交換プログラムで、人道的な奉仕活動を通じて、参加者のキャリア目標を応援できるよう、参加者のニーズや要望に応じた内容の交換が行われるものです。

#### ⑥「青少年の保護」への対応

ロータリーは、差別や身体的、精神的、性的な虐待のない、青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことに努めています。

高山中央ロータリークラブは、対外的な事業は、青少年奉仕の活動に、特に力を入れていくと決めています。「出前講座」は、ご承知の通り、クラブの一丁目一番地の事業であり、この事業を立ち上げ、主導的な立場で、行政や多くの団体を巻き込み、広げ、進めてきました。そして、今では、市内中学校の子供たちにとって、大切な事業に育っています。ちなみに、過去には、単発となりましたが、高校生バンドに、発表の場を文化会館のホールに用意し、ライブを開催したという、少し面白い事業も実施したことがあります。最近のニュースで、16歳～19歳の少年が銀座で白昼に高級時計を強盗す



るとか、中学校の先生が投資やギャンブルで借金の挙句、泥棒に入り人を殺すとか、凄いいことになっていて、本当にびっくりします。こんなことは起ってはならないと思いますし、だからこそ、これからも、私たちが時代の要請に応じて、様々な形で、青少年奉仕にコミットしていくことが必要であると思っています。

さて、本日の例会は、青少年奉仕／インターアクト委員会、益田委員長にご担当いただき、「こどものメンタルヘルス 虐待・いじめ・不登校 タブレットの行方」についてということで、「飛騨子供相談センター 谷倉所長様に卓話をいただきます。先月の「母子の健康」月間の時に、世界最高水準の衛生環境を持つ日本が抱えている、今後解決に向けて、日本のロータリーが取り組むべき大きな課題は「日本の母子の心の問題」についてであるとお話しさせていただきました。この地域の状況をお聞かせいただき、課題の解決に向けて、私たちロータリアンが、どのように行動していけば良いかを、ご示唆いただければと思います。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、コロナですが、感染状況もだいぶ落ち着きましたが、コロナそのものは、なくなったわけではありませので、変わらず、体調管理にお努めいただくことをお願いして、会長の時間とします。

以上です。ありがとうございました。

## ●幹事報告

幹事 二木 公太郎

◎R I 本部より  
・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より  
・休暇のお知らせ  
4 月 29 日～5 月 7 日まで

- ・青少年の海外旅行保険のご案内
- ・高橋ガバナー杯 チャリティゴルフ大会の結果
- ・「学友だより第 11 号」
- ・バギオだより 5 月号
- ・クラブ増強報告書 4 月分

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナーエレクト事務所より  
・休暇のお知らせ  
4 月 29 日～5 月 7 日まで  
・地区研修協議会での忘れ物（ハズキルーペ・ピアス）  
探し物（黄色い財布・スマホ）



○ロータリー米山記念奨学会より  
・ハイライトよねやま 278

○高山ロータリークラブより  
・例会変更のお知らせ  
6 月 1 日（木）18：30～ 新緑家族  
例会 洲さき  
6 月 29 日（木）休会 定款により

<飛騨高山国際協会より>  
・令和 5 年度通常総会の議決結果について

<飛騨慈光会後援会より>  
・令和 5 年度総会のご案内 5 月 20 日（土）15：00～ 山ゆり福祉会館

<高山市社会福祉協議会より>  
・第 5 次高山市地域福祉活動計画について

<高山市民憲章推進協議会より>  
・令和 5 年度総会のご案内 5 月 31 日（水）19：00～ 市役所市民ホール

<会報>  
・下呂 R C

## ●青少年奉仕/IA 委員会

委員長 益田 大輔

今日は青少年奉仕月間、青春年のメンタルヘルスについて子ども相談センター所長の谷倉 祐二様に来ていただいております。寄贈したタブレットの活用についてご紹介ですが、アプリを使っの学習や、実験の閲覧、地図パズル、歴史、クイズ、人体パズル、漢字の練習、自由活動としてプログラミング、音楽作成、紹介動画の撮影など、隙間時間にみんな使えるような形ですごく重宝しているという事です。



## ●飛騨こども相談センター 所長 谷倉 祐二 様

皆さん、こんにちは。  
飛騨こども相談センター  
谷倉と申します。

先ほど会長さんのお話にもあったとおり、青少年の保護で虐待が児童相談所でここ数年のトレンドになっています。

令和 3 年度児童虐待相談件数が岐阜県内で 2390 件、県内市町村の 1,487 件過去最多。全国の 20 万 7,660 件対応も過去最多を更新しています。しかし、全国死亡児童数では令和 2 年度が最新で児童虐待心中も含め 77 人です。死亡児童数の調査以来、平成 20 年度が過去最多で 128 人です。児童虐待による死亡児童数は増えていません。

折れ線グラフを見ていただくとおり、全国でも県も市町村も受付対応が増えていきます。平成 24 年度全体の数 725 件の児童虐待対応件数、それに対して令和 3 年度 2390 件で、だいたい 3 倍になっています。

平成 30 年 31 年に全国的なショッキングなニュースとして、東京都目黒区の女児虐待、野田市の小 4 女児虐待事件、この平成 30 年度から令和元年度にかけて児童虐待が非常に大きく増えています。国としてもこれはどうにかしなければいけないということで、様々な連携、警察からの通告、学校からの通告をちゃんと拾い、見逃すことのないようにしようと相談が増えました。県内でも 1480 件増え、今まで軽いと思われたケースもしっかり広くなり、在宅での児童虐待を対応するようになり、家庭に踏み込むようになったという大きな転換期でした。過去には警察も民事には介入しませんでしたでしたが、最近では民事介入します。

実は一番多い相談は障害です。療育手帳と知的障害者の障害児童の手帳の判定を児童相談所で行っており、それが一番多い相談です。同時期、国の大きな方向転換を掲げて、職員の人数が増えました。児童福祉士も児童心理士も計画通り増えており、1.6 倍から 1.8 倍増えました。この飛騨の子ども相談センターもそうです。ただ当然、ベテランの割合が減ることになります。

また、児童虐待に関して民法や、法改正も目まぐるしく整備されてきました。

児童虐待があり、親子分離で何とかなっているのは、3 パーセントにも満たず、あとの 90 パーセントというのは孤立を防ぐ気長な関わりが必要になっています。



過去には間違った育て方をする親、特徴のある子どもを何とか治療するという方法性で動いたが、そうではなく、正しい理解より公的な誤解、それがストリームウォーズです。例えば、気が短いのは次々にスピード感を持ってことに当たれるということなのかもしれない。だから、その人の思っている性格や、特性特徴をいい方に解釈して家族全体、地域全体がそれを活かしていくという方向に変わってきています。

**質疑応答：児童の定義は何歳までだったのか、法律によって違いますか。**

→児童福祉法でいくと、18 歳未満までです。一応、18 歳未満が中心になります。ただ最近は大んだんと例外が出てきて、年齢を超えても自立までという部分が出てきています。

**質疑応答：虐待と環境の関連性がありますか？貧困との関連性があったりしますか？**

貧困もありますが、孤独孤立に陥りがちな状態になると虐待がエスカレートするということが環境的にはあります。お子さんの気性だとか、一人親の方がどうかというさまざまなことがある、結果的にリスク要因とブロック要因というんですけど、例えば一人親で貧困で親さんに精神障害や精神疾患があれば、これはリスクが高いんですけど、リスクをブロックする要因、例えば地域の手助けや、親族、学校、市町村、ボランティア団体等のブロックがあり、そのリスク要因をカバーできれば虐待にならないということで、やっぱり何が原因なのか私は孤独孤立、いかにその状態を防ぐのかということだと思っています。

見る目が多い方が、手が多い方がとか、3 世代 4 世代同居した方が、経験上はそれがあった方がひどくはなりにくいとは感じています。ただ、それには除去があり、家族がそれなりに仲良くやっている事が重要だと思います。

知ってほしい里親のこと、オレンジリボン運動などお手元のパンフレットをご参考に。  
ありがとうございました。

## &lt;5 月のお祝い&gt;

## &lt;会員誕生日&gt;

小出 貴博	S 4 6 年	5 月 1 2 日
中屋 出	S 4 8 年	5 月 1 3 日
高橋 厚生	S 4 9 年	5 月 2 0 日
井辺 義直	S 5 5 年	5 月 2 5 日
島 良明	S 2 4 年	5 月 2 6 日
道下 利一	S 4 1 年	5 月 2 8 日

## &lt;夫人誕生日&gt;

水口 邦博	保代	5 月 1 7 日
直井 宏文	千日弥	5 月 2 1 日
堀口 裕之	潤子	5 月 3 0 日

## &lt;結婚記念日&gt;

岩垣津 亘	S 5 3 年	5 月 8 日
中田 専太郎	S 5 8 年	5 月 2 1 日
高橋 厚生	H 1 5 年	5 月 2 4 日
松之木 映一	S 5 4 年	5 月 2 6 日

## &lt;ニコニコ BOX&gt;

飛騨子ども相談センター 谷倉祐二様のご来訪  
を心より歓迎致します。 **役員理事一同**

本日は例会を担当させていただきます。  
飛騨子ども相談センター谷倉所長のご来訪に感  
謝致します。また、貴重な勉強の機会を頂いた事  
に深く感謝してニコニコへ。 **益田 大輔**

お休みしていて申し訳ありません。新緑例会も  
お休みさせていただきます。 **海老沢 玲子**

連休のはじめに、孫家族と上野動物園に行き、生  
まれて初めて「パンダ」を見て来ました。  
シャオシャオとレイレイ 80 分待ちでしたが見れ  
ました。平和に感謝してニコニコへ。 **高木 純**

GWは久しぶりに三枝さん・伊藤さんと南の島  
へ視察に行って来ました。  
南国の香りにマブーハイ。 **周 信夫**

本日、早退します。 **小出 貴博**